

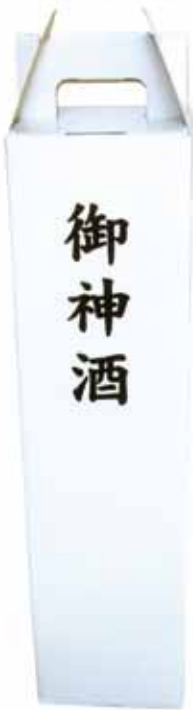
会報 むすび

第37号

平成25年3月吉日

発行所
栃木県青年神職むすび会
広 報 委 員 会
発行人
田 中 教 文
印刷所
株式会社 益子印刷





御神酒

「手持ち付き 御神酒箱」

一升瓶が入るサイズ

●箱サイズ：11×11×48cm

年度内価格

3箱 **¥500** のところ → **¥600** 5箱

※配送の場合は、1箱150円で50箱単位

栃木県青年神職むすび会 頒布品

着帯のお祝い
(安産祈願)

腹 帯

〈岩田帯〉

頒布価格(1箱)

¥1,000 (送料別)

くじら尺を用いて、縁起の良い7尺5寸3分(約3m)に裁断し高級感ある桐箱に納めました。
中の帯は縦に二つ折にし、巻き納めてあります。(解説書在中)



ご注文
問い合わせ

〒322-0307 栃木県鹿沼市入粟野709-3 賀蘇山神社内

栃木県青年神職むすび会 事業委員会

委員長 横瀬 勝宣宛 ※ご注文はFAXにて受付致します。

FAX／0289-86-7717 TEL/0289-86-7717



栃木県青年神職むすび会創立五十周年記念式典

目次

会長退任挨拶(第二十代).....	1
新会長就任挨拶(第二十一代).....	2
創立五十周年記念事業	
写真コンテスト入賞作品紹介.....	3
記念式典開催.....	4
慰霊祭(於沖縄県).....	6
夏休み子供研修会・御田植祭・抜穂祭.....	7
一都七県野球大会・フットサル大会.....	8
平成二十四年度むすび会事業報告.....	9
平成二十四年度むすび会役員・幹事氏名.....	10
新入会員、退会者紹介、祝・第一子誕生.....	11
協賛社広告掲載・編集後記.....	12
むすび会事業委員会よりお知らせ.....	13
(御神酒箱・腹帯).....	14
表紙写真／写真コンテスト優秀賞作品 「暗夜に浮く」 大矢喜洋 様	16



会長退任挨拶

栃木県青年神職むすび会

第二十代会長

田中

教文

先づ以て、謹んで聖寿の萬歳と皇室の弥栄をお慶び申し上げます。本年は、いよいよ神宮において、第六十二回式年遷宮を迎える佳年となりましたこと、誠に慶賀に存じます。

さて、去る平成二十三年二月の臨時総会におきまして、歴史と伝統ある栃木県青年神職むすび会の第二十代会長に選任され、二年間重責を担うこととなりました。顧みれば、昨年当会は、創立五十周年の節目の年を迎え、記念式典をはじめとする、各種記念事業の実施に向けて進む中、私は荒井前会長より大役を引き継ぐこととなりました。節目の事業に対する準備と実行に、大きな不安を抱きながらも、関係各位の御協力を得て、全ての事業を成功裡に終えることが出来ました。

不慣れな私が会長職を担い、様々な事業を進めていく中、会員一人一人がよりいっそう協力し、団結し、何事にも全力を注いで、己の仕事に萬進してくれました。一つ一つの活動に会長として携わりながら、会議ごとに全員で知恵を出し、積極的に意見を交わし、何度も試行錯誤を重ね、数多の困難や試練を乗り越え、沢山の貴重な経験を得ることができました。そして、会長職を担う立場上、自身の不甲斐なさを実感する場面や、反省する点も多々ありました。

しかし、今日という日を迎えることができたのは、多くの時を共に過ごしてきた素晴らしい仲間がおり、支えてくれた会員は勿論のこと、先輩諸兄・石原神社庁長様をはじめ、御協賛賜りました県内各宮司様、会議の場をお貸しくださいました神社庁の皆様の御芳情と御支援によりますことを、この場をお借りし、改めて厚く御礼申し上げます。また、在職中には、神道青年全国協議会、神青協一都七県協議会の皆様にも、多大な御協力を戴きましたこと、深く感謝申し上げます。

今期は、未曾有の大災害であった東日本大震災の影響が、いろいろな場所、様々な場面で感じられました。当会恒例行事であります「御田植祭」・「抜穂祭」は、震災発生当時、福島第一原発の放射能の影響から、モニタリングを受けての田植え、稲刈りとなりました。また、当県も甚大な被害を被りましたが、より被害の大きかった東北地方への、様々な復興支援活動にも、力を注いでまいりました。当会単独で行った瓦礫撤去作業は、自分の目で被災地を見て、そこに住んでいる方々の苦勞を肌で感じ、復興への道のりの難しさを痛感させられました。支援した当時は、一人一人が出来る仕事に限られており、当会は被災地の為に一体何が出来るのかと、自問自答する日々でありました。後に、この活動が『皇室』に掲載され、それを読み、この度の復興支援活動が、少なからず被災地の力になったのだろうと実感致しました。未だ復興への道のりは長く険しく、報道等で見る被災地の状況には心が痛む思いですが、根気強く、当会が出来る事を、継続的にこなって行くことが大切であると感じております。

今後、当会は今まで以上に困難な局面を迎え、多難の中、活動をしていかなければならなくなるかもしれません。将来を見据えた運営が求められる中、その役割を果たすため、各自研鑽を積み、青年神職ならではのフットワークを活かし、新たな時代に邁進して行くことを願います。会員の皆様におかれましては、次期会長である滝口貴史君を中心に、強い結束と先輩方が築かれた伝統を継承し、今まで以上の御活躍を御期待申し上げます。

最後に、当会の益々の御発展を御祈念申し上げ、退任の挨拶とさせていただきます。有難うございました。



会長就任挨拶

栃木県青年神職むすび会
第二十一代会長 滝口 貴史

謹んで聖寿の万歳と皇室の弥栄を御慶び申し上げますとともに、神宮におかれましては、第六十二回神宮式年遷宮に向け、諸行事を順調に進められておりますこと、慶賀に存じます。また、一昨年発生致しました東日本大震災において被災され、未だ困難な生活を余儀なくされている皆様には、衷心より御見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を心より御祈念申し上げます。また、日頃より、栃木県青年神職むすび会の諸活動に對しまして、格別の御協力を賜りますこと、厚く御礼申し上げます。昨年十月の臨時總會におきまして、田中会長よりバトンを受け継ぎ、第二十一代会長に就任することとなりました。浅学非才の上、経験も乏しい私ですが、会員と共に精一杯、二年間の会務を努めていく所存であります。

さて、当会は昨年、創立五十周年の佳節を迎えることが出来ました。自転車で行く神宮参拝、沖繩県糸満市摩文仁栃木の塔での当県出身戦没者慰霊祭、雅楽コンサート等の事業を、多くの諸先輩方の御協力により、無事完了することが出来ました。五十周年実行委員長として、この場をお借りしまして、改めて御礼申し上げます。今期は、「東日本大震災の復興支援」・「五十一年目の新たなスタート」・「第六十二回神宮式年遷宮」の三つを大きな柱として掲げ、会員一同関連活動に邁進していく所存であります。一つ目の「東日本大震災の復興」は、震災より二年が経った現在も、復興や再建が困難な状況下にある御社が多く存在するという現実を踏まえ、福島、宮城、岩手への物心両面の支援を継続的に行う予定であります。

今日の状況は、むすび会が発会された頃とは、様々な事象が変化しております。斯界を取り巻く環境は、決して良いとはいえません。しかし、昨年の衆議院選挙においては自民党が政権与党となり、安倍政権が発足致しました。就任前の十二月十九日、女性宮家創設の問題を白紙に戻したことは、日本再生の始まり

だと思われれます。そのような情勢の中、今後内外の様々な諸問題、特に御皇室、領土問題、先の大戦については、より深く考えなければなりません。世界的な視野を身につけることも大切ですが、まず、国内のことを再度学び直さなければなりません。「五十一年目の新たなスタート」として、「変えてはいけないもの」、「変えていかなければならないもの」を主題に、今期は青年神職同士意見を交わし合いながら、勉強会の開催等を企画予定しております。

「第六十二回神宮式年遷宮」は、二十年に一度の日本の大祭（おおまつり）です。神都伊勢では、式年遷宮の年の神嘗祭を大神嘗祭として、神宮のみならず、神領民そろって大祭を盛り上げます。前回の遷宮時、私は伊勢で学生生活を送っており、様々な貴重な体験をさせていただきました。当会の中には、今回初めて遷宮を迎えるという会員も沢山います。遷宮時の諸行事、諸活動には積極的に参加し、青年神職としてこの二十年に一度の大祭を通じて、より多くの研鑽を積んでいきたいと思えます。

今年度は、当会が一部七県の当番県となり、六月に那須に於いて総会を予定しております。新体制に変わり、まだまだ不安定な部分も多々ございます。諸先輩方には、御協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

最後に、将来を見据えた対応と確かな判断力が問われる今日、先輩方の軌跡に恥じることの無いよう、青年神職たる若さを武器に、地域社会、斯界のため、そして国のために邁進していく所存であります。今後とも、当会に對しまして、御指導御鞭撻をお願い申し上げ、就任の挨拶と致します。

創立50周年記念事業

写真コンテスト入賞作品紹介



銅賞 「泣きずもう」
片山 久子 様
(鹿沼市 生子神社)



銀賞 「山門の秋」
吉江 定男 様
(佐野市 唐澤山神社)



金賞 「暗夜に浮く」
大矢 喜洋 様
(日光市 二荒山神社)



入選 「梅香る社」
櫻木 賢治 様
(佐野市 朝日森天満宮)



入選 「雪の鷺子山上神社」
森嶋 新勝 様
(那珂川町 鷺子山上神社)



入選 「伝統の継承」
江川 多嘉 様
(矢板市 木橋神社)



入選 「花咲く参道」
荒井 辰男 様
(鹿沼市 磯山神社)



入選 「祭りのクライマックス」
五月女 久雄 様
(小山市 八幡宮)



入選 「大神輿の渡御」
海老沼 清一郎 様
(小山市 須賀神社)



入選 「霧中祈願」
海老根 登 様
(日光市 二荒山神社)



入選 「元気に提灯をもむ」
竹熊 孝 様
(野木町 野木神社)



入選 「歓気の団結」
川崎 宣雄 様
(上河内 羽黒山神社)



入選 「流鏝馬」
大宮司 和照 様
(大田原市 大宮温泉神社)

栃木県青年神職むすび会創立五十周年記念大会

当日、奉告祭を斎行（於 栃木県神社庁神殿）



第一部 記念式典 午後二時より

- 一、開式の辞（沼部副会長）
- 一、神宮遙拝（田中会長）
- 一、国歌斉唱
- 一、敬神生活の綱領唱和（金子会計）
- 一、会長式辞
- 一、創立五十周年記念事業報告（滝口実行委員長）

- ①周年事業開始奉告祭
- ②神主が自転車で行く伊勢参り
- ③神宮参拝
- ④「とちぎの神社とまつり」写真コンテスト
- ⑤夏休みこども神社体験事業
- ⑥雅楽コンサート
- ⑦創立四十周年記念事業

「タイムカプセルハガキ發送」

- ⑧南方方面戦没者慰霊祭
- ⑨むすび会ホームページ新規開設
- ⑩創立五十周年記念誌発行
- ⑪むすび会雅楽部の創設
- 一、感謝状贈呈（代表 初代会長 横瀬勝壽様）
- 一、来賓祝辞
- 一、来賓紹介
- 一、祝電披露
- 一、「神道青年の歌」「美はしき山河」斉唱
- 一、聖寿万歳奉唱（第十三代会長 加藤直人様）
- 一、閉式の辞（阿久津議長）

五月九日、当会創立五十周年記念大会がホテル東日本宇都宮にて行われました。式典では、滝口実行委員長より記念事業の報告が、プロジェクターを使用しながら進められると、ご臨席の方々には深い関心を寄せられ、真剣に聞き入っている姿が見受けられました。続いて、当会歴代会長をはじめ、神田管理者、協賛各社への長年の功労に敬意を表し、感謝状の贈呈が行われました。表彰者を代表し、初代会長横瀬勝壽様が贈呈を受けられました。来賓祝辞では、神社庁長石原敬士様、神道青年全国協議会会長大野清徳様、当県神社総代連合会会長島田嘉内様、参議院議員上野通子先生より、お祝いのご挨拶をいただきました。式典の納めには、第十三代会長加藤直人様の先導による聖寿万歳を奉唱し、滞りなく式典を終了しました。



第二部 記念講演 午後四時より

演題「守ってあげたい。いのちを懸けて」

講師 参議院議員 三原じゅん子先生

記念講演では、参議院議員の三原じゅん子先生による「守ってあげたい。いのちを懸けて」という演題の講演を拝聴しました。若年層の子宮頸がん発症の増加報告を受け、三原先生は自身と同様のがんを発症した経験から、若い世代の女性達に自分と同じ思いをさせたくないと思うわれ、若年層への子宮頸がん早期予防ワクチン接種の必要性を訴え、様々な軋轢や苦勞を乗り越え、全国への予防ワクチン接種の普及に尽力されました。

お話の中で、自身が「がん」になって得たものは何かという問いに、「一番大きいのは、人のありがたみがわかるようになったこと。がんを発症し、母に報告したところ、はじめは取り乱して泣いていましたが、気を取り直して『私は甲状腺がんを克服した経験がある。あんたは私の子だから大丈夫だ。』って励ましてくれて、頻繁にお見舞いにも来てくれました。また、家族以外にも情報を提供してくれたがん仲間、仕事の範囲を超えて献身的に支えてくれたスタッフ、心の支えになってくれた友人達にも、ずいぶん助けられました。おかげで、自分のことしか考えない人間ではなくなりました。がんは、病気は、心掛け次第で自分の教師になります。」と答えられていました。

先生は、闘病生活の中で様々なことを学ばれ、自らが生きていく為の糧にしていらっしゃるように思いました。また、信念を貫けば物事は実現できるという教訓にもなり、とても有意義な講演でした。



第三部 記念祝賀会 午後五時半より

一、開会の辞（小堀監事）

一、会長挨拶

一、来賓祝辞

一、乾杯（神社庁副庁長 黒川正邦様）

一、祝宴（清興 邦楽ゾリスデン）

一、中締め（第十五代会長 星野芳典様）

一、閉会の辞（福田監事）

開会に先立ち、当日皆様に審査をいただいた「とちぎの神社」とまつり「写真コンテスト」の入賞作品が発表され、金賞・銀賞・銅賞に輝いた作品が紹介されました。祝賀会には、神社庁理事提箸克之様、神青協一都七県協議会会長矢野幸士様、県知事福田富一様、県議会議長高橋文吉様よりご祝辞をいただき、副庁長黒川正邦様の乾杯のご発声により、祝宴が開催されました。清興では邦楽ゾリスデンによる生演奏が行われ、箏や尺八による華やかな演奏が、会場の雰囲気をもより一層盛り上げていました。

賑わいの祝宴は、第十五代会長の星野芳典様の中締めによって閉会しました。どのテーブルも賑やかな会話と、数多の笑顔が溢れており、ご参集の皆様一人一人が親睦を深め、良き語らいのひと時を過ごされていました。

（大前神社 根本直樹）

創立五十周年記念事業

大東亜戦争沖縄戦及び南方方面栃木県出身戦歿者慰霊祭

日時 平成二十四年五月二十三日

場所 沖縄県糸満市 平和記念公園内「栃木の塔」

齋主 当会副会長・周年記念実行委員長

八坂神社 権禰宜 滝口 貴史

祭員 八雲神社 宮司 小堀 真洋

三祖神社 宮司 阿久津喜大

今宮神社 権禰宜 福田 財大

日光二荒山神社 権禰宜 福田 有宏

大前神社 禰宜 柳田 耕史

津島神社 禰宜 岩松 史恵

岩崎神社 禰宜 田邊 雅祥

白鷺神社 禰宜 上野 敬則

村檜神社 宮司 寺内 誉迪

今宮神社 権禰宜 高橋林之介

参列者

栃木県護国神社 宮司 稲 寿

栃木県人会「栃の葉会」 会長 高久 健治

沖縄県神道青年会 会長 田場 聡

栃木県青年神職むすび会 会長 田中 教文

式次第

一、修祓

一、齋主一拝

一、献饌

一、祭詞奏上

一、祭文奏上

一、浦安の舞 奉奏

一、玉串拝礼

齋主

栃木県青年神職むすび会

会長 田中 教文

宮司 稲 寿

栃の葉会 会長 高久 健治

沖縄県神道青年会 会長 田場 聡

一、撤饌

一、齋主一拝



東京から約三時間の空の旅を終え、灰色の雲の中を抜けると、眼下には太陽の光に輝く真つ青な沖繩の海が広がっていました。本年当会は創立五十周年の節目の年を迎え、「大東亜戦争沖繩戦及び南方方面栃木県出身戦没慰霊祭」を斎行するため、本土復帰四十年を迎える沖繩県に降り立ちました。

空港を出ると、南国特有の熱気と色鮮やかな花々が私達を迎えてくれました。国内有数の観光地として有名な沖繩県は、温暖な気候と独自の文化を営み、ほんの数十年前に沢山の方々が犠牲となった激しい戦闘が繰り返られていた地とは思えないほど、穏やかな時間がゆっくりと流れていました。

慰霊祭は、糸満市にある平和記念公園内の「栃木の塔」に於いて斎行されました。栃木県護国神社稲宮司様、沖繩県在住者で組織する「栃の葉会」の高久会長様、沖繩県神道青年会田場会長様の御参列を賜り、当会周年記念実行委員長滝口斎主のもと、会員十一名による祭典奉仕となりました。当県銘菓や名水、地酒を奉納し、祭詞奏上の後、田中会長が祭文を奏上しました。「常に英霊の御心とともに、我が国の繁栄に一層の努力を傾注し、日本人の心を後世へと伝えていくため日々精進する。」会員全員が、その言葉を胸に刻み、心を込めて玉串を奉り拝礼しました。

慰霊祭において、私は神前神楽「浦安の舞」を奉奏させていただきました。「浦安の舞」は、昭和天皇の御製に、時の宮内庁楽長 多氏が作曲振付されたもので、今日でも多くの神社で盛んに舞われています。神楽舞の先生に、慰霊祭



にて舞の奉奏をさせていただく旨を伝えると、「沖繩県は、戦時中どこよりも多くの方々が出なくなりました。未だ未練が残る、上へ昇ることが出来ない御霊も沢山いらっしゃることでしょ。浦安の舞は、英霊の御心を慰め、地に残る御霊が上へ昇る為のお手伝いをするこも出来ることでしょ。神を想い、英霊を想い、國を想い、世を想い、舞って下さい。」と仰いました。その言葉を胸に、誠心をこめて奉奏させていただきました。

滞在した三日間、沢山の名所を見学しました。那覇市に鎮座致します波上宮、宜野湾市に鎮座致します普天満宮、市内中央に広大な敷地を有する普天間飛行場、若くして戦争の犠牲となった白梅学徒看護隊の鎮魂碑「白梅の塔」。戦時中日本軍の司令部となっていた首里城、沖繩古来の歴史を学ぶことができる琉球村、沖繩の海をガラスの中に閉じこめたような「美ら海水族館」。また、沖繩県神道青年会の皆様との懇親会や、「栃の葉会」の方々との交流会においては、こちらではまず食さないのであるという珍しい食べ物や飲み物の数々に舌鼓を打ちました。この穏やかな沖繩に、悲しく辛い過去が有るということ、沢山の犠牲の上に今の沖繩があるということは出来ませんが、慰霊祭を通じて感じた沖繩の痛み、辛さ、悲しさを共に分かち合い、常に英霊の御心とともに、日本人の心を後世へ伝えるべく、私達は日々の務めに励んでいかなくてはならないと、改めて強く思いました。

(津島神社 岩松史恵)

夏休み子供研修会

八月二十一日、日光市中禅寺湖菖蒲ヶ浜キャンプ場にて「夏休み子供研修会」を開催いたしました。当日は天候にも恵まれ、当会会員とその家族、総勢十七名が参加し、とても賑やかな研修会となりました。

菖蒲ヶ浜キャンプ場に集合した後、龍頭の滝駐車場を目指してハイキングを行いました。その道中子供達は自然に打ち解け合い、沢からの爽やかな風が吹く中、遊歩道を仲良く歩いてゆく姿が見られました。お昼にはキャンプ場に戻り、火を囲んでのバーベキューを行いました。会員も子供達も自然の中で頂く料理の美その後、中禅寺湖の浜辺にて水遊びやスイカ割りをして、自然との触れ合いを楽しみました。湖の水は少し冷たかったものの、子供達は元氣よく水遊びを楽しみ、大自然を満喫していました。また、スイカ割りの際には、目隠しをした年少の子を年上の子がしっかりと手助けし、それぞれが力一杯スイカを叩き、皆の力で割ったスイカをとっても美味しそうに味わっていました。

今回の研修を通して、参加者相互の絆を深める有意義な時間を持つことができ、また参加した子供達にとっても、この研修会が素晴らしい夏休みの思い出となったことと思います。

(白鷺神社 大塚 聡)



御田植祭

本年も、当会恒例行事である御田植祭が、五月十六日、滝口副会長のご実家（那須烏山市志鳥）の神田において、斎行されました。

五月晴れの空の下、斎主を務められた滝口副会長が苗の健やかな成長を祈願し、会員一同玉串拝礼を行いました。

祭典終了後、会員が一株づつ丁寧に苗を植えていきました。田植えといえば、機械によって効率よく植えていくものしか知らなかった私にとって、この度の手作業での田植えは、水と土の感触を肌で感じ、自然とふれ合うことの大切さを改めて実感した、大変貴重な経験となりました。

古来より人々が感じてきた、生きていく上で大切な自然に対する畏敬や恩恵の念を忘れず、この思いを子供達へ受け継いでいけるよう、今後とも自分達の手でしっかりと守っていかねければならないと思いました。

(日吉神社 大柿文彦)



抜穂祭

本年五月に行われた御田植祭に続き、十月二日に抜穂祭が斎行されました。

昨年は東日本大震災の影響、福島第一原発の放射能等の影響が心配され、モニタリング調査等を受けての刈り入れでしたが、本年は何事の心配も無く、無事神事並びに稲刈りを行うことが出来ました。

神事は、秋晴れの空の下、厳かに斎行され、沼部副会長が祝詞を奏上し、田中会長をはじめ参加者全員が実りの秋への感謝を込め、玉串拝礼を行いました。

神事後、一株づつ丁寧に稲が刈り取られました。本年収穫された「イセヒカリ」は、神宮に奉納される事になっています。

(乃木神社 秋元亮平)



フットサル大会

第二回一都七県神職フットサル大会が、平成二十四年五月三十日に、明治神宮外苑フットサルコートにて行われました。

当日は天候にも恵まれ、当会からは、前回参加選手を含め、七名が出場しました。第一回大会優勝という成績を収めている当会は、選手全員が県内神職の方々からの大きな期待を背負い、気持ちを引き締め試合に臨みました。

今大会において自分達は、声を掛け合う、チームワークを大切にする、個性を尊重することを、一番の目標としました。試合は、前大会得点王に輝いた寺内選手を始め、チーム一丸となり全試合を戦い抜いた結果、六戦無敗、二大会連覇という輝かしい成績を収める事ができました。

仲間を思いやり、信頼する。その思いの中で己の力を最大限に発揮する。その結果が、自身自身の、また、チームの成長に繋がり、本大会においても最高の成績を修めることに繋がったのだと思います。

スポーツを通して育んだ信頼関係を、同じ道



を志す者同士、当会や各県の方々と、より深い繋がりを広げて行きたいと思っています。

(乃木神社 津田 宏)



一都七県野球大会

九月二十六日、神宮外苑球場にて一都七県神職野球大会が行われました。昨年の大会では、群馬神青の皆様と混成チームを結成し参加しました。合同練習を行い、チームワークを向上させた成果、準優勝という輝かしい成績を収めることができました。本年も、昨年の成績に恥じぬようにと、再度合同練習を行い、大会に臨みました。

一回戦の対戦相手は、優勝候補と目されている東京チームでした。ピッチャー未経験ながら力投された沼部副会長をはじめ、試合に参加した会員の全力プレーも力及ばず、残念ながら初戦敗退となってしまいました。その後、東京チ

ームは神奈川県Aチームと決勝を戦い、ハイレベルな試合内容の結果、神奈川県Aチームが優勝しました。

今回は、初戦敗退という残念な結果になってしまいましたが、野球というスポーツを通じて、当会会員同士は勿論、群馬神青の方々をはじめ一都七県の皆様と親睦を深める事ができました。そして、今回のくやしい思いをバネにして、次回大会では一つでも多くの白星を勝ち取れるよう、会員同士が力を合わせて組んでいけたら嬉しく思います。

(太平山神社 坂本龍彦)



平成二十四年度 むすび会事業報告

(平成二十四年)		
四月 三日	むすび会決算監査会	栃木県神社庁
四月二十四日	第一回一都七県協議会定例会議	神 社 本 庁
四月二十六日	平成二十四年度むすび会定例総会	栃木県神社庁
四月二十七日	第六十四回神青協定例総会	神 社 本 庁
四月二十八日	県内神社例祭会員奉仕	栃木県護国神社
五月 九日	むすび会創立五十周年記念大会	ホテル東日本
五月 十六日	むすび会御田植祭	那 須 烏 山 市
五月二十三日 ～二十五日	創立五十周年記念事業 栃木の塔慰霊祭	沖 縄 県
五月 三十日	親睦フットサル交流会	明治神宮外苑
六月 六日 ～七日	第十八回一都七県協議会定例会議	群 馬 県
八月 十六日	第二回一都七県協議会定例会議	神 社 本 庁
八月二十一日	むすび会夏休み子供研修会	日光市中禅寺湖
八月二十九日 ～三十日	神青協夏期セミナー	神 社 本 庁
九月 五日 ～六日	復興支援活動	宮城県石巻市
九月 八日	全国総代会助勢	宇都宮市文化会館
九月二十六日	第十六回一都七県協議会神職野球大会	明治神宮外苑
十月 二日	むすび会抜穂祭	那 須 烏 山 市

十月 三日	第三回一都七県協議会定例会議	東京都神社庁
十月 十八日	むすび会臨時総会(役員改選)	栃木県神社庁
十一月 五日 ～六日	復興支援活動	宮城県金華山
十二月 六日	むすび会一都七県総会下見打合せ 並びに忘年会	ホテルエビナール 那 須
十二月 十日	第四回一都七県協議会定例会議	東京都神社庁
(平成二十五年)		
一月 二十七日	むすび会役員会・新年会	栃木県神社庁
二月 五日	第五回一都七県協議会定例会議 並びに顧問会・新年会	明 治 神 宮
二月 七日	一都七県総会準備会議	宇都宮二荒山会館
二月 十一日	建国記念の日記念式典	宇都宮二荒山会館
三月 十三日 ～十四日	神青協中央研修会	高 知 県
三月 二十日	復興支援活動	福島県南相馬市
三月 二十五日	むすび会祭式研修会	栃木県神社庁
昇級者祝賀会並びに退会者慰労会		
※その他 執行部会、役員会、役員・幹事・正副委員長会を 必要に応じて開催		
宇都宮 東武 ホテルグランデ		

◆平成二十四年度 役員幹事氏名◆

【役員】

会長	田中 教文	瀧尾神社	宮司
副会長	沼部 博文	須賀神社	権禰宜
副会長	滝口 貴史	八坂神社	権禰宜
事務局長	柳田 耕史	大前神社	禰宜
庶務	大阿久 岩貴	春日神社	宮司
會計	金子 宗人	宇都宮二荒山神社	権禰宜
監事	小堀 真洋	八雲神社	宮司
監事	福田 財大	今宮神社	権禰宜
監事	和氣 洋誠	日光二荒山神社	権禰宜
議長	阿久津 喜大	三祖神社	禰宜

【幹事】

宇河支部	上野 敬則	白鷺神社	禰宜
宇都宮二荒山神社	金子 宗人	宇都宮二荒山神社	権禰宜
芳賀支部	野澤 功嗣	大前神社	権禰宜
塩谷支部	高橋 林之介	今宮神社	権禰宜
南・北那須支部	津田 雅宏	乃木神社	権禰宜
上都賀支部	福田 雅祥	岩崎神社	禰宜
日光二荒山神社	福田 有宏	日光二荒山神社	禰宜
古峯神社	黒本 裕子	古峯神社	権禰宜
下都賀支部	黒本 琢也	諏訪神社	宮司
安佐・足利支部	寺内 誉迪	村檜神社	宮司

◆各種委員会氏名◆

【広報委員会】

委員長	岩松 史恵	津島神社	禰宜
副委員長	根本 直樹	大前神社	権禰宜

【研修委員会】

委員長	秋元 亮平	乃木神社	権禰宜
副委員長	多田 隆一	日光二荒山神社	権禰宜

【事業委員会】

委員長	板垣 喜充	春日神社	禰宜
副委員長	黒川 裕正	雄琴神社	禰宜

【親睦委員会】

委員長	大柿 文彦	日吉神社	禰宜
副委員長	新井 隆宏	磐根神社	禰宜

【遷宮・神宮大麻特別委員会】

委員長	葎田 真彦	八坂神社	禰宜
副委員長	下妻 大介	今宮神社	権禰宜

【創立五十周年 実行委員会】

委員長	滝口 貴史	式典担当	大阿久岩 貴子
副委員長	大阿久岩 貴子	式典担当	黒本 裕子
副委員長	櫻木 琢也	H・P・記念誌担当	阿久津 喜大
総務局長	柳田 耕史	H・P・記念誌担当	櫻木 琢也
會計	横瀬 勝宣	広報担当	岩松 史恵
監事	葎田 真彦	広報担当	根本 直樹
監事	新井 隆宏	研修担当	秋元 亮平
総務局員	田邊 雅祥	研修担当	多田 隆一
総務局員	上野 敬則		
総務局員	寺内 誉迪		

新入会員紹介



やなぎた しんさく
柳田 晋作

奉職先 大前神社
役職 権禰宜

自分を一言で表現して下さい

良くも悪くも保守的で細かい。

これからの抱負

人生の半分程の年になりました。成すべき物事の為に力を尽くしたいです。



いけぐち あつし
池口 敦

奉職先 古峯神社
役職 権禰宜

自分を一言で表現して下さい

恭検已れを持す。

これからの抱負

不束者ですが、会の名に恥じぬよう努めて参ります。御指導宜しくお願い致します。



なかた あきら
中田 明

奉職先 乃木神社
役職 権禰宜

自分を一言で表現して下さい

ポジティブ

これからの抱負

心身ともに鍛えて行きたいです。



わき ひろみ
和氣 裕美

奉職先 高原山神社
役職 禰宜

自分を一言で表現して下さい

マイペース。

これからの抱負

崇敬者の為に、精一杯神明奉仕に励んでいきたいです。



くりはら よしのり
栗原 義宜

奉職先 胸形神社
役職 権禰宜

自分を一言で表現して下さい

適応力がある。

これからの抱負

諸先輩方とともに頑張っていきたいと思ひます。御指導宜しくお願い致します。



おの あきら
小野 彰

奉職先 黒磯神社
役職 権禰宜

自分を一言で表現して下さい

不器用。

これからの抱負

着実に学び、一步一步進んで行ける様頑張ります。

祝・御結婚

寺内 誉迪

奉職先 村檜神社

入籍日

平成二十四年八月六日

新婦氏名

寺内 彩子(旧姓 奥村)

新郎のつづやき

明るく楽しい家庭を築いて参ろうと思ひます。これからも、御指導御鞭撻の程、宜しくお願いいたします。

祝・第一子誕生

和氣 洋誠

第一子氏名

寿佳(ことか・長女)

生年月日

平成二十四年十一月十九日

お子様へ一言

元気で思いやりのある子に育って下さい。



退 会 者 紹 介



田中 教文

後輩へ一言お願いします

益々の御活躍をお祈り致します。

御挨拶

皆様には大変お世話になりました。ありがとうございます。



沼部 博成

後輩へ一言お願いします

皆様それぞれの役職での、更なる御活躍をお祈り申し上げます。

御挨拶

入会し十余年、いろいろお世話になりました。心より御礼申し上げます。



小堀 真洋

後輩へ一言お願いします

同世代の仲間と共に活動できる会です。皆様の、より一層の御活躍を楽しみにしております。

御挨拶

大変お世話になり、ありがとうございます。今後とも、宜しくお願い致します。



阿久津喜大

後輩へ一言お願いします

当会活動を、より一層盛り上げていって下さい。

御挨拶

短い間でしたが、会の活動で学んだ多くの事を糧に、今後の社務に励んでいきたいと思います。



神山 拓之

御挨拶

日本は、いい国です。

日本の精神、神道人の真心を世界に伝えるべく、これからも頑張っていきたいと思います。



野澤 功嗣

後輩へ一言お願いします

弥栄

御挨拶

入会から七年間、皆様と共に活動し楽しい思い出ばかりです。ありがとうございます。



佐野由希子

御挨拶

ありがとうございました。

小貫 達也
(旧姓 田邊)

御挨拶

五年間、大変お世話になりました。隣県在住となりますので、何かの機会でご一緒させていただくこともあるかと思います。今後とも、宜しくお願い致します。



株式会社下野広告社
〒320-0051 宇都宮市上戸祭町520-8
TEL028-666-8123 FAX028-666-8133



県内各神社様、工事拝命先（順不同）

日光東照宮	矢板木幡神社
日光二荒山神社	小川温泉神社
宇都宮二荒山神社	足利権崎八幡宮
真岡大前神社	佐野人丸神社
大田原那須神社	下野一社八幡宮
西那須野乃木神社	祖母井神社
氏家今宮神社	足利八雲神社
足利星宮神社	一瓶塚稻荷神社

株式会社 小西美術工藝社
〒321-1421 栃木県日光市所野2829-1
〒108-0014 東京都港区芝4-4-5 三田KMビル3階
TEL 日光(0288)54-1198(代) TEL 東京(03)5765-1481(代)

足袋・和装用品専門店



株式会社 福生
〒590-0953
堺市堺区甲斐町東1丁2-30
フリーダイヤル 0120-29-0051
FAX 0120-29-0052
ホームページ <http://www.tabiya.net>

営 業 品 目

縁起物入おみくじ・金属製守・木札守・紙札守
金欄綿守・各種熊手・守護矢・朱印帳

おまもりの奉製

株式会社 阿部
本社・工場 〒323-1104 栃木県栃木市藤岡町藤岡213-7
TEL (0282) 62-1010(代表)
FAX (0282) 62-2061

全国各神社御用達

神符・守札・木札・ビニール守・錦守・集印帳
交通安全守・御守袋・守護矢・ステッカー
奉書紙・書道半紙・画仙紙・色紙・他

創業100年 真心で奉仕する

今村紙業株式会社
代表取締役 今村 力男
〒409-3601 山梨県西八代郡市川三郷町市川大門6237-11
TEL 055(272)0514(代)
FAX 055(272)8818

高精細印刷
700線カラー印刷をお試し下さい

BEAMS ビームス700プレミアム
700 Premium
再現不可能な微細で高画質を再現印刷

ビームスとは…伴印刷が提唱する品質と環境保護を考えた次世代の印刷システムです。

伴印刷株式会社
B Printing A Company N
宇都宮市栄町6-10
TEL 028-622-8901 FAX 028-622-4525
URL: WWW.bannet.com

【取扱品目】神具・祭具・御守・神棚・調度品・記念品・雅楽器・木工作品

神祭具の事なら民俗工芸にお任せください

ご注文専用フリーダイヤル

TEL:0120-534-550
FAX:0120-872-550

ホームページからのご注文も承っております
URL <http://www.minzoku.co.jp>



株式会社 民俗工芸
〒857-1162 長崎県佐世保市卸本町 18-1
土曜日も平常通り営業いたしております

各授与品、記念品奉製

金欄綿守、合成樹脂製守、紙札守
木札、金属製守、反射ステッカー

●その他各種授与品御希望に奉製致します。

株式会社 三愛工芸
〒311-4143 水戸市大塚町字谷津1761-16
TEL 水戸 (029)251-2051(代)
FAX 水戸 (029)253-5844



内宮に一番近い宿・どなたでもご利用いただけます

早朝参拝のご案内をしております

遷宮で結ぶ人の輪心の輪
第六十二回神宮式年遷宮



ゆとりとやすらぎの宿

神宮会館

(財)伊勢神宮崇敬会

— ご宿泊に関するお問い合わせは —

〒516-0025 伊勢市宇治中之切町152

TEL.0596-22-0001/FAX.0596-22-1517

<http://www.jingukaikan.jp>

社寺建築請負い

株式 会社 **石川工務店**

代表取締役 石川 明

〒321-1406 栃木県日光市松原町1233番地

TEL 0288-53-0408

総合印刷

(株)井上総合印刷

代表取締役 井上光夫

本社 宇都宮市岩曽町1355

TEL (028)661-4723

FAX (028)662-7607

宮内庁
神社本庁・栃木県神社庁・各県神社庁
全国神社・小笠原流弓馬術礼法教場 **御用達**

株式会社 **大槻装束店**

東京・上野駅前

東京都台東区東上野3丁目17番9号

電話 03(3835)3201(代)

FAX 03(3835)0617

<http://www.ootsuki-shozokuten.com>

創業150年

各種御神符・守札
その他授与品全般

湊御神符奉製所



株式会社

湊

伊勢市神宮会館前(〒516-0025)

TEL (0596) 22-2442 (代表)

FAX (0596) 28-8445



〈営業品目〉 ●交通安全御守護
●開運招福鈴
●文鎖 金盃
●各種記念品類
●胸像・レリーフ・鑄造類

鈴木徽章工芸株式会社

〒113-0032 東京都文京区弥生2-12-1

TEL. 03-3814-1811 FAX. 03-3818-8332

E-mail: info@suzuki-kisho.co.jp

<http://www.suzuki-kisho.co.jp>



株式会社 皆中 kaichu

〒156-0045

東京都世田谷区桜上水4-8-7 HALS桜上水2F

TEL 03-3302-1899 / FAX 03-3302-1900

E-Mail: koushin@kaichutabi.com

<http://kaichutabi.com>



神祭具 授与品 記念品 奉製

株式 会社 **神路社**

本社 三重県伊勢市岩淵2丁目5番29号(私書箱第26号)
〒516-8611 電話番号 0596-24-5858 FAX 0596-24-5110

I P電話 050-3536-5273

URL <http://www.kamijisya.co.jp>

E-mail info@kamijisya.co.jp

神 薙 東京都渋谷区恵比寿1-26-14 SSRビル4階
(東日本営業所) 電話番号 03-3280-6720 FAX 03-3280-6721

I P電話 050-3539-3432

〒150-0013 E-mail shinen@kamijisya.co.jp

【高級西陣織】 各種金襴錦守・木札・紙札・ステッカー
絵馬・木彫・土鈴・装束・撒餅・記念品



御社ならではの御守とオーダーメイドで奉製いたします
色・柄・形などお気軽に御相談ください

京都奉製株式会社 京都本社／東京営業所
仙台営業所／福岡営業所

TEL 0120-164124 (イロヨイニシキ) <http://www.omamori.co.jp>

 **祈りをこめて**

神社授与品・記念品御奉製

株式会社 長谷川 製作所
代表取締役 長谷川 和夫

本社 〒114-0004 東京都北区堀船3-20-13 TEL 03-3912-6161(代) FAX 03-3912-3131
草加営業所 〒340-0025 埼玉県草加市谷塚仲町466-1
TEL 048-921-1221(代) FAX 048-921-1515

授与品専門奉製所

常陸神宝(株)

商標登録 「夢みくじ」「一期一会御守」

〒310-0902 水戸市渡里町835-1
TEL (水戸) 029(227)0511(代)
FAX (水戸) 029(227)0512

誠実と真心で奉仕する
御守・授与品・参拝記念奉製

御一報次第カタログ御送り致します。

 **グリーン産商株式会社**

代表取締役 柚木 忠

〒547-0033 大阪市平野区平野西4丁目8番29号
TEL 大阪(06)6702-6009番(代)
FAX 大阪(06)6797-5896番

平成25年 祝 第62回 伊勢神宮式年遷宮

伊勢名物 **岩戸餅**

お伊勢参りのお食事とお土産は

宇治橋より30秒!!
伊勢内宮前 岩戸屋

〒516-0024
伊勢市宇治今在家町58番地
TEL(0596)23-3188(代)
FAX(0596)28-1322
<http://www.iwatoya.co.jp>
E-mail info@iwatoya.co.jp



麻・鈴緒・合織α縄(注連縄)製造

有限会社 モミヂヤ

〒328-0042 栃木市沼和田町12-14
フリーダイヤル 0120-22-1312
FAX 0282-22-1387
<http://www.t-cnet.or.jp/~momidiya/f-top>

御社頭授与品奉製

※御希望通りの御調製申し上げます。
御一報次第参上致します。

新日本工芸株式会社

〒311-4153
茨城県水戸市河和田町3891
電話 (029)251-0997(代)
FAX (029)252-8287

神祭具・御装束・雅楽器類
授与品・結婚式場調度

(株)高善装束店

代表取締役 桑 眞一

〒113-0021 東京都文京区本駒込3-2-9
TEL 03(5815)8771
FAX 03(5815)8772

とちぎ蔵の湯



柏倉温泉
太子館

〒328-0066 栃木県栃木市柏倉町967
TEL(0282)23-5035(代) FAX(0282)23-5082
<http://www.taishikan.jp> ☎ 0120-235035

ようこそお伊勢さんへ

勢乃國屋では、豊富なおみやげ品、
伊勢の郷土料理を用意して、
皆様のお越しをお待ちしております。
どうぞお気軽にお立ち寄りください。

～ 伊勢路の土産と御食事処 ～



伊勢内宮前
勢乃國屋

〒516-0024
伊勢市宇治今在家町117
TEL 0596-23-5555
FAX 0596-23-1928
URL <http://www.senokuniya.co.jp>
E-mail info@senokuniya.co.jp

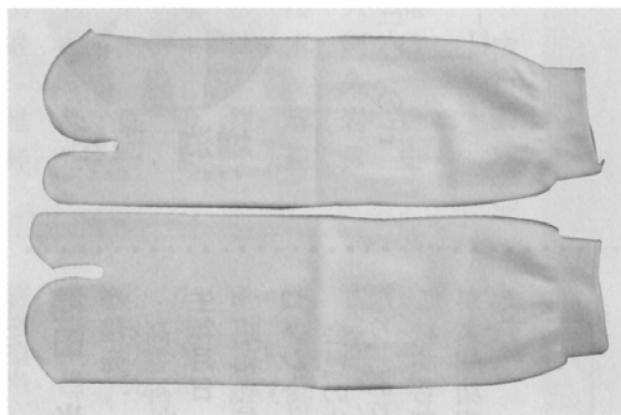


文化を表現する会社

企画デザインからカラー印刷、製本まで

株式会社 益子印刷

〒321-4217 栃木県芳賀郡益子町益子1709-6
TEL.0285(72)3131 FAX.0285(72)6868



足袋の中にはく靴下

タビックス

5足組

¥500 (送料別)

12足組

¥1,000 (送料別)

編集後記

まず始めに、一昨年発生しました東日本大震災において、今なお不自由な生活を余儀なくされている皆様に、衷心よりお見舞い申し上げますとともに、震災からの一日も早い復興を御祈念致します。

さて、本年もここに「会報 むすび 第三十七号」が無事発行出来ましたこと、厚く御礼申し上げます。これも偏に、関係者皆様方の御協力と、広告協賛を賜りました各位のお陰と、心より感謝申し上げます。

昨年から取り組んで参りました、当会創立五十周年記念事業が、関係各位のお陰を持ちまして、全ての事業が滞りなく、無事に終了することが出来ました。ありがとうございました。

来年度（平成二十五年度）は、第六十二回神宮式年遷宮が行われます。全国各地で奉祝の聲が高まる中、当会においても新会長の下、会員一同気持ちも新たに、様々な事業に邁進して参ります。今後とも、御指導御鞭撻を賜りますよう、宜しくお願い致します。

広報委員会名簿

委員長	岩松 史恵
副委員長	根本 直樹
委員	櫻木 琢也
委員	石原 奈央子
委員	黒川 寧子
委員	津田 宏
委員	寺内 誉迪
委員	黒本 裕子
委員	栗原 義宜